

#4 神の預言者たちの神聖な励ましを通して、神の家の建造を回復する **BEV3/13-19** 神の家としての回復された宮の再建において、ヨシュア(祭司職を代表する)とゼルバベル(王職を代表する)は両者とも、いづれも弱くなり、失望しました。ですから、神は預言者ハガイと預言者ゼカリヤを用いて神のために語らせ、ヨシュアとゼルバベルを強め、助け、励ましたのです。ハガイの預言の中心思想は、神の家の建造、すなわち、神の宮の建造が、今日の神の民の幸いと関係があり、また復興の時代における千年王国の到来とそのメシアの来臨と関係があるということです。ハガイ1:4 この家が廃虚となっているのに、あなたがた自身は板張りの家に住むべき時であろうか? 8 山に登り、木を運んで来て、家を建てよ。そうすれば、私はそれを喜び、栄光が現されるとエホバは言われる。A 旧約でエホバの家、あるいは宮は、まず個人的に神の家としてのキリストの予表であり、次に団体的に神の家としての召会(からだ、拡大されたキリスト)の予表でした。B エホバの家は召会の予表ですから、ハガイの預言は私たち、新約の信者たちを指しています。それは、私たちがその予表の実際であるからです。C ハガイが、総督ゼルバベルと、大祭司ヨシュアに語ったのは、彼らと民を強め励まして、神の家としての宮を再建させるためでした。D 私利私欲で神を無視する捕囚から帰還した民は、自分の家を顧みていましたが、エホバの家を顧みませんでした。9節の「奔走している」という言葉は、民が自分自身の家を顧みることには忙しくしていたことを示します。E ハガイ書1:6は、もし私たちが召会を軽視するならば、真の享受や満足はないことを示しています。神の家の建造を回復することに関して、私たちは中立的であることはできません。私たちは絶対的でなければならず、最初に自分の家を顧みるか、それとも最初に主の家を顧みるかのどちらかです。F 神の家の建造を回復するために、神の選民は霊の中で奮い立たせられ、来て、エホバの家の中で働きました。私たちはみな主の命令に応答し、主イエスに占有されて、福音を宣べ伝える働き、新しい信者を養う働き、人を顧みる働きを行ない、主の家、すなわちキリストのからだとしての召会を建造すべきです。G 「私はすべての諸国民を揺り動かす。そして、すべての諸国民の願いが来て」(ハガイ2:7a) これはキリストを指しており、彼はすべての諸国民の願いです。たとえ諸国民はキリストを知らなくても、なおもキリストを願っています。諸国民が、光、愛、喜び、義のようなもの(その実際はキリストです)を願っているのは、彼らが無意識のうちにキリストを願っていることを意味します。2 すべての諸国民の願いとしてのキリストの来臨は、神の民のバビロンでの捕囚からの帰還と、

神の家の建造の回復にかかっています。H 「私はこの家を栄光で満たす…この家の後の栄光は、前の栄光よりも大きい」(ハガイ2:7b,9a) 1 神の栄光、すなわち神の表現は、神の建造の中にあります。すなわち、エホバの家の中にあります。エペソ3:21 神に、召会の中で、またキリスト・イエスの中で、栄光がすべての世代に至るまで、永遠にわたってありますように。アーメン。2 エゼキエルは神のビジョンの中で、エホバの栄光がエホバの家に戻り、その家を満たすのを見ました。エホバの栄光が家に戻ったのは、家の建造が完成したからです。このことが示しているのは、栄光の神が召会の中に住むために、召会は建造されて、神の住まいとならなければならないということです。3 エゼキエルは命の水の川が神の家から流れ出て、東、すなわち神の栄光の方向に向かっているのを見ました。もし私たちが神の栄光を顧慮しないなら、私たちの中の流れは制限されます。4 召会生活の中で私たちが持つべき最初の考慮は、主の栄光です。召会生活での決定は、おもに主の栄光にしたがってなされなければなりません。I エホバがゼルバベルを印のようになることは、エホバが彼をご自身の代理とし、彼を愛し、彼に信頼したことを示します。この事柄で、ゼルバベルはキリストの予表であり、そしてキリストは神が愛し信頼する方です。そのような方として、キリストは資格づけられて神の家、すなわち召会の建造を顧みます。マタイ16:18 ...私はこの岩の上に、私の召会を建てる。ハデス[陰府]の門も、それに勝つことはない。27 なぜなら、人の子は彼の父の栄光の中で、御使いたちと共に来るが、その時それぞれに、行ないにしたがって報いてくださるからである。III ゼカリヤ書が啓示していることは、燭台の七つのともし火が、神の七つの霊、すなわち七倍に強化された霊であるということです。彼は、エホバの七つの目であり、贖う小羊の七つの目であり、建造する石の七つの目であって、三一の神を完全に表現し、神の家を再建します。ゼカリヤ3:9 ...一つの石の上に七つの目がある。見よ、私はそれに彫り物を彫ると、万軍のエホバは告げられる。そして私はその地の罪科を、一日のうちに取り除く。4:10 ...これらの七つは、ゼルバベルの手にある下げ振りを見て喜ぶ。それらは、全地を歩き巡るエホバの目である。啓5:6 私はまた、...ほふられたばかりのような小羊が立っているのを見た。それには…七つの目があった。それは全地に遣わされた神の七つの霊である。A ゼカリヤ3:9でヨシュアの前に置かれた石は、神の建造のための石であるキリストを予表します。エホバが石を彫ることが示しているのは、キリストが十字架上で死につつあったとき、神によって彫られ、切られたということです。エホバが地の罪科を一日のうちに取り除

くことが示していることは、キリスト(神はその方の上で働かれました)が、イスラエルの地の罪を一日のうちに、すなわち、彼が十字架につけられた日に、取り除くということです。神の小羊であるキリストは、十字架上でのご自身の死を通して、世の人の罪を取り除きました。1石とエホバと小羊は、一です。キリストは贖う小羊と建造する石であり、またエホバでもあります。キリストは、小羊・石です。すなわち、贖いのための小羊と、建造のための石です。2神の建造においてキリストは、土台の石であって建造を支え、隅の石であって彼のからだの異邦人の肢体とユダヤ人の肢体とを共に結び付け、恵みの頂石であって神の建造におけるすべてを完成します。4キリストが建造の石であり、七つの目、すなわち七つの霊を持っているのは、ご自身を私たちの中へと注入して、神の建造のために私たちを尊い材料へと造り変えるためです。主が私たちを見るとき、彼の七つの目は彼ご自身を私たちの中へと注入します。B神の建造の完成のために、七倍に強化された霊は、贖う小羊また建造する石としてのキリストの目であって、私たちを観察し探り、また神の建造のためにキリストの本質、豊富、負担を私たちに注入し伝達します。箴20:27人の霊はエホバのともし火であり、内なる存在の最も深い部分をすべて探る。啓4:5...七つの火のともし火が、御座の前で燃えていた。この七つの火のともし火は、神の七つの霊である。3造り変えを最も多く経験する人は、完全に主に開いている人です。キリストを追い求める信者たちの内側の七倍に強化された霊の働きによって、彼らは強化されて勝利者となり、キリストのからだを建造し、このからだは新エルサレムを究極的に完成します。Cキリストは最後のアダムとして、復活の中で命を与える霊と成りました。彼はまた七倍に強化された霊でもあります。この霊は命の霊です。ですから、七つの霊の機能は、神聖な命を神の民の中へと分け与えて、神の永遠の住まい、すなわち新エルサレムを建造することです。D七倍に強化された霊は、七つの火のともし火であり、私たちを焼き、照らし、暴露し、探り、裁き、きよめ、精錬して、金の燭台を生み出し、神の新約エコノミーを成就します。E燭台の両側にある二本のオリーブの木は、当時の大祭司ヨシュアと総督ゼルバベルを表徴します。彼らは二人の油の子であり、神の宮の再建のために、エホバの霊で満たされていました:ゼカリヤ4:3また、そのそばに二本のオリーブの木があり、一本はその鉢の右に、一本は左にあります。12...二本の金の注ぎ口のそばにあって、そこからその金の油を空にする二本のオリーブの枝は何ですか? 14彼は言った、「これらは二人の油の子であり、全地の主のそばに立つ者です」。1二人の油の子はまた、現在の時代の

最後の三年半の二人の証し人モーセとエリヤを予表しています。彼らは大患難の中で神の証し人となり、神の民、イスラエル人とキリストにある信者たちを強めます。2c私たちはこの事柄を私たちの今日の経験に適用するとき、私たちから流れ出るその霊が神であり、また神が金であることを見ます。こういうわけで、私たちはキリストを他の人に供給し、彼らに油を供給するとき、実は彼らに神を供給しているのです。神は私たちから流れ出て、彼らの中へと流れ込みます。e私たちはみなオリーブの木となって、私たち自身から神を空にして、他の人の中へと流し込むべきです。このようにして、神が流れ出るオリーブの木である人たちによって、油は必要な人たちに供給されます。

神戸に在る召会交わりと報告事項

1. 2023年の新しい召会生活の実行のため:

- ①【食べる】キリストを毎日食べて、キリストで構成され、キリストを表現し、キリストを代行する。
- ②【生む】福音を伝えて、救われる人を生み出す。
- ③【養い・成就する】新人を家庭集会で養い、バイタルグループで成就して、新しい奉仕者を生み出す。
- ④【建造する】主日の集会は建造のためです。YouTubeからZoomへ、Zoomから集会所へ、建造のために集会所に集まる。
- ⑤【ブレンディングする】近隣の諸召会と、できる限りブレンディングする。

2. 3/21(火・祝)の祈り集会:

祝日のため、19:00-20:30に時間変更して行います。

3. 3/21(火・祝)JP Welcome RGブレンディング:

リジョイスガーデンに9:10に到着するように集まってください。昼食は、BBQです。

各地区、誰でも参加していただけます。

【参加費(交通費500円込み)】

大人:1500円、大・中・高生:1000円、

小学生:800円、幼児:600円、乳児:500円

※福音友人、新しくYPIに入る人は、500円です。

4. 本山学生福音センター:

3/19(主)から主日集会を開始します。

青少年が、新しい本山学生福音センター

で、霊を活用して、主を享受し、主を表現

し、主を代行することができるように祈って

ください。

CP1 神の家の建造を回復するために、私たちは絶対的でなければならず、最初に神の家を顧みる

II ハガイの預言の中心思想は、神の家の建造、すなわち、神の宮の建造が、今日の神の民の幸いと関係があり、また復興の時代における千年王国の到来とそのメシアの来臨と関係があるということです

D 私利私欲で神を無視する捕囚から帰還した民は、自分の家を顧みていましたが、エホバの家を顧みませんでした。9節の「奔走している」という言葉は、民が自分自身の家を顧みることによって忙しくしていたことを示します。**E** ハガイ書1:6は、もし私たちが召会を軽視するならば、真の享受や満足はないことを示しています。神の家の建造を回復することに関して、私たちは中立的であることはできません。私たちは絶対的でなければならず、最初に自分の家を顧みるか、それとも最初に主の家を顧みるかのどちらかです。ハガイ1:4 この家が廃虚となっているのに、あなたがた自身は板張りの家に住むべき時であろうか? 6 あなたがたは多くまいりましたが、取り入れは少ない。あなたがたは食べても、飽きることはない。あなたがたは飲んでも、満たされない。あなたがたは衣服を着ても、暖まらない。賃銀を得る者が賃銀を得ても、穴のある袋に入れるようなものである。8 山に登り、木を運んで来て、家を建てよ。そうすれば、私はそれを喜び、栄光が現されるとエホバは言われる。9 あなたがたは多くを望んだが、見よ、それは少なかった。あなたがたが家に持って来たとき、私はそれを吹き払った。なぜか? 万軍のエホバは告げられる。それは、私の家が廃虚となっているのに、あなたがたはそれぞれ自分の家のために奔走しているからである。

9節の「奔走している」という言葉は、民が自分自身の家を顧みることによって忙しくしていたことを示します。今日ある聖徒たちは、とても忙しく自分の家を顧みて、集会に参加する時間がありません。私たちはこれを考えるとき、全宇宙に中立というものはないことを認識する必要があります。私たちは絶対的でなければなりません。私たちは最初に自分の家を顧みるか、それとも最初に主の家を顧みるかのどちらかでなければなりません。ここの私の要点は、私たちは主の権益のために時間を取ることを学ぶ必要があるということです。どれほど多くの罪人が、私たちの訪問を待っていることでしょうか? どれほど多くの聖徒たち、特に若い人たちが、私たちのほぐみと養いを待っていることでしょうか?...主は来て私たちと清算するとき、必ず私たちを叱責されます。私たちが拡張を得るのが難しかったのは、おもに私たちの環境のゆえではなく、私たちの弁解のゆえです。

証1 私は25歳の時に召会生活の中に入りました。小組の集会を通して沢山の供給を受け、主に引き寄せられていきました。私が勤めていた会社は26歳になる年に全員昇格試験を受けなければならず、同じ支店から男女合わせて3人が試験を受ける予定でした。私だけが落ちると恥ずかしいので、勉強の為に多く時間を取る必要があると思いました。でも仕事をしながらの勉強は大変でした。そのころ、小組の集会に参加していた家は遠く、仕事が終わったあと、車で往復約1時間半かけて行っていました。試験が近くなった時、勉強に集中するために集会を休みました。私はとても渴き、弱くなるのを感じ、主に祈りました。「主よ、もう試験まで1か月もありません。小組の集会は遠くて時間的に行くのが難しいです。主よ、赦してください。でも私はこのままではいけません。どうしたらよいのでしょうか?」その後、小組の集会は難しくても、祈りの集会には続けて参加しようと決めました。また、毎日の勉強の前に、ライフスタディを読みました。とても供給があり、勉強のことで一杯になっていた私は平安で満たされ、主と共に仕事をし、勉強にも集中して取り組むことができました。祈りの集会には毎週参加し、自分の必要を忘れ兄弟姉妹と一緒に召会の為に祈ることができました。その後、昇格試験も無事合格できました。主に感謝します。

証2 会社で働いていた頃、家でも仕事でも問題を抱え、どこにも安息がないと感じた時がありました。「主よ、私には安息できる家がありません」と言うと、主は、「私にも家がない」と言われました。主は1994年の歴代志の冬季訓練の中で、天地万物を創造された神には家がなく、彼は彼の家の建造を渴望しておられる、という神の願いを見せてくださいました。私はそのビジョンを見てすぐに献身しました。その後の召会生活において、自分の必要を顧みることが優先してしまうことが多くありましたが、御言葉や霊的書物や集会での語り掛けによって、照らされ、悔い改め、戻されたことを感謝します。**祈り** おお主イエスよ、自分の必要を顧みることが優先してしまうことから私を救ってください。今、私は神が家の建造を願っておられるというビジョンを見ました。私は献身を更新して、主の主権のために時間をとることを学びます。自分自身のことをまず顧みるのではなく、召会生活を優先順位第一位とします。私たちの周りには福音が必要な多くの人々がおり、集会になんらかの理由で来られなくなった兄弟姉妹がいます。彼らのために祈り、福音と牧養を実行します。

CP2内側の鍵のかかった部屋が、聖霊に照らされて、鍵を開ければ、主は入ってきて命を供給する

III B神の建造の完成のために、七倍に強化された霊は、贖う小羊また建造する石としてのキリストの目であって、私たちを観察し探り、また神の建造のためにキリストの本質、豊富、負担を私たちに注入し伝達します:**2**...私たちは造り変えられるために、祈りの中で主に完全に開いて、七つの火のともし火を持つ主のともし火に、私たちの魂のすべての部屋を探っていたら、私たちの内側の各部分の上で輝きそれらを照らしていただき、それらに命を供給していただかなければなりません。**箴20:27**人の霊はエホバのともし火であり、内なる存在の最も深い部分をすべて探る。**啓4:5**七つの火のともし火が、御座の前で燃えていた。この七つの火のともし火は、神の七つの霊である。**3**造り変えを最も多く経験する人は、完全に主に開いている人です。キリストを追い求める信者たちの内側の七倍に強化された霊の働きによって、彼らは強化されて勝利者となり、キリストのからだを建造し、このからだは新エルサレムを究極的に完成します。

私たちの魂の内側の各部分は開いていないかもしれません。例えば、私たちは祈るとき、自分の感情を主に開くことを恐れます。私たちは祈りの中である点に達した後、閉ざします。なぜなら、私たちは内なるある部屋を彼に進んで開こうとしないからです。私たちは忠信にすべての集会に参加し、御言を読み、祈りの中で時間を費やすかもしれません。しかし、内側にはかぎのかかった戸があります。私たちは...たとえ主を愛し、他の方法で代価を払っていたとしても、その戸を開ける道はないことを主に告げるのです。...私たちは自分の罪を告白し、主を受け入れます。その時、私たちは神の霊を内側に持ちます。しかしながら、私たちの魂の中で造り変えられることは容易ではありません。それは主のともし火がすべての内なる部屋を探ることを必要とします。すべての内なる部屋を主に開いている人はほとんどいません。...この光が輝くところに、命の供給が及びます。

適用:ビジネスパーソン、大学院生編

証私は内側に鍵のかかった部屋が心の中にあったことを主に照らされて初めて分かりました。また、私が照らされることの主の明確な目的は、召会建造であることを証します。35歳から米系のオーラルケア領域に特化した製薬会社で働いていました。当時、日本やグローバルの市場での業績は順調に成長していました。そのような時、米国本社が突然、会社を売却することを決定しました。その時、私は日本では画期的な新製品の開発のために、長い

時間のかかる臨床試験を伴うプロジェクトに携わっていた最中でしたので、大変失望しました。社員の間で様々な消極的なうわさが上がり、暗い雰囲気でした。また、すべての大きな決定ができなくなり、迅速にプロジェクトを推進することができなくなりました。この時、私は次のように考えていました、「このような急激な変化の時には、主イエスもどうしようもないので、私を助けることができないのではないか?」。

後で気付きましたが、これは私の心の中の鍵のかかった、閉ざされた一つの部屋でした。この時に私は**イザヤ32:2、25:4**を読み、「ひとりの人が、風の避ける避け所、暴風を避けるおおいのようになり、乾いた所にある水の流れのように、荒廃した地にある大きな岩の影のようになる」、「まことに、あなたは弱い者のとりで、乏しい者の苦しみのときのみとりで、嵐からの避け所、暑さからの陰となられました。まことに、恐怖をもたらす者たちの息は、壁に対する嵐のようだからです」。暴風は突然やってきます。私はこの聖なる言葉を読んだ時、照らされて、自分の考え方が間違っていることに気付きました、「主イエスよ、私はとんでもない不信仰に陥っていました。私の不信仰の邪悪な罪を赦してください。王の王、主の主であり、宇宙的な行政官であるあなたを私は見くびっていました。私の制限された信仰のゆえに、天然の主観的な観念の暗闇の中に落ち込んでいました。新しい親会社の社長の主はあなたです。私はビジネス・ワールドの人類歴史の動きの背後にある神の動きを見ていませんでした。環境の変化に対応できず、異邦人のように右往左往していました。あなたの尊い血で、再び私を覆ってください。この血は私の罪を赦すだけでなく、勝利の血でもあります。私はあなたに照らされ、サタンのだます策略から出て来て、あなたに開きます。その霊が私に来て、私に命を供給してください」。

この急激な変化は、私が会社で更に高い地位に前進し、更に多くキリストを経験し、主と一つになることを訓練して、最終的に召会建造に至るためでした。この点を祈り、交わる時に霊が燃やされ、すべてのことがクリアになり、あらゆる問題の解答を得ることができました。私が憐みを受け、主の照らしと導きを正しく解釈できたのは、キリストのからだの建造をすべての経験と祝福のゴールにすることができたからだと思います。ビジネスにおけるキリストの経験や祝福を、自分の出世のためにだけ使うことはできません。なぜなら、神の働きの目的は個人の成功のためではないからです。もし、祝福を自分のために使うなら、私は、憐みを受けて、霊の中の導きを正しく解釈することもできず、導かれることはできなかつたと証できます。